

ミステリ読書案内

2024. 10. 10 発行元

第609号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

1991年のミステリ

新しい企画として「1988年のミステリ」からスタートして、今回はその四回目。平成3年である「1991年のミステリ」を取りあげる。『このミス』ランキングを見ると傑作・名作がずらりと並んでいる。

読書中断期間に入る

1991年。私は年が明けてすぐに完全な読書中断期間に入る。中学校三年生の担任であり、地区指定の「学校公開」の責任者にもなっていて、本を読んでいる余裕は全くなくなってしまった。仕事だけに振り回される毎日だった。

よって右に掲げた『このミス』年間「ベスト20」の作品のうちいくつかは2000年代になってから読んだ。未だに読んでいない本もかなりある。8年間の読書中断期間を後から埋めるといのはなかなか

難しいものだ。

この年を特色付けているのは志水辰夫の『行きずりの街』と高村薫の『神の火』『黄金を抱いて翔べ』の二作品だと思う。綾辻行人の「新本格」の流れとはちょっと違う新しいミステリの誕生を感じさせる出来事である。

稲見一良の『ダック・コール』は既にこの『ミステリ読書案内』で紹介しているので、下には『行きずりの街』と島田荘司の『水晶のピラミッド』を取り上げることにした。二作ともどこの図書館にも置いてあると思うのだが…。

1991年「このミス」ベスト20

- | | |
|---------------|-------|
| 1. 行きずりの街 | 志水辰夫 |
| 2. 毒猿 新宿鮫II | 大沢在昌 |
| 3. ダック・コール | 稲見一良 |
| 4. 龍は眠る | 宮部みゆき |
| 5. 水晶のピラミッド | 島田荘司 |
| 6. ぼくのミステリな日常 | 若竹七海 |
| 7. 斜影はるかな国 | 逢坂 剛 |
| 8. 神の火 | 高村 薫 |
| 9. 黄金を抱いて翔べ | 高村 薫 |
| 10. ウロボロスの偽書 | 竹本健治 |
| 11. 時計館の殺人 | 綾辻行人 |
| 12. 翼のある闇 | 麻耶雄高 |
| 13. 秋の花 | 北村 薫 |
| 14. リング | 鈴木光司 |
| 15. 五稜郭残党伝 | 佐々木譲 |
| 16. 探偵映画 | 我孫子武丸 |
| 17. 歳時記 | 依井貴裕 |
| 18. 連鎖 | 真保裕一 |
| 19. 一の悲劇 | 法月綸太郎 |
| 20. 返事はいらぬ | 宮部みゆき |
| 20. 室町お伽草子 | 山田風太郎 |
| 20. 殺人喜劇の13人 | 芦辺 拓 |

志水辰夫『行きずりの街』

新潮ミステリー倶楽部から出た作品。日本冒険小説協会大賞受賞作品。ハードボイルドに分類する人もいるようだが私はハードボイルドだとは思っていない。ただ、「人探し」のストーリーであり、主人公が自分の信念を信じて行動する部分、行動中心の文章の描き方などはハードボイルドに通じる要素である。映画化もされ、注目を集めた作品。

主人公は丹波篠山で塾講師をしている波多野和郎。十二年前まで東京の名門高校の教員だったのだが、女子生徒との恋愛、結婚がスキャンダルとなり、追い出されるようにして退職し、地元に戻った。郷里の塾でかつて教えていた広瀬ゆかりを探しに上京することになった。ゆかりの親代わりの祖母が危篤状態になったので、連絡を取ろうとした叔母が無理に頼んできたからだ。本人と連絡が取れないという。麻布のマンションを訪ねてみるとやはり留守。管理人に部屋に入れてもらって手掛かりを得ようとするが…。マンションを出たところで三人の男に取り囲まれ…。調べを進めていくと、かつて勤めていた学園の関りが見えてきて、学園の闇と対決する流れに。そして最も重要なのが別れた妻・手塚雅子との再開。ラブ・ミステリと言われる所以。

島田荘司『水晶のピラミッド』

講談社から出版された長大な物語。本が重い。600ページ。本書が島田荘司のひとつの転換期になっていると感じる。初期の意表を突く作品群から時間や空間を超えた幾層にも積み重なった話の構造になっていく。島田中期の代表作と言えるだろう。

最初にアメリカのビッチ・ポイントでの怪物の出現とそこに近いエジプト島での死体発見が短く紹介される。プロローグみたいなもの。そのあと、舞台はエジプト、ナイル川上流の中州にある島での出来事に話は移る。十六歳の娘・ミクルが流れ着いた箱の中から男を助け出す。男はまもなく姿を消すが、ミクルは成長してギザへの旅に出発する展開。そしてまた、もうひとつの話が組み合わせられ、1912年のタイタニック号の船上でのやりとりが登場してくる…。物語の一番の中心になるエジプト島の人工ピラミッドの中での殺人事件に話が及ぶのは170ページ以上読み進めてからのこと。下半分は石積みで、その上に鉄骨とガラスを組み合わせたピラミッド型の建造物。そのピラミッドの先端に近い密室で、ある実業家が溺れた状態で見つかる。こちらは1986年の事。名探偵・御手洗が登場するのはずっと後半に入ってから…。